

「清流の国ぎふ」創生総合戦略推進会議（書面開催）で頂いた意見

1. 令和5年度「清流の国ぎふ」創生総合戦略実施状況報告

No.	項目	内容
1	1 (1) ① 地域や企業等と連携したふるさと教育の展開	平常時のみならず、（コロナ禍のような）未曾有の状況に直面した場合に、どのような対応をすることが可能なのか、踏み込んだ分析と改善に向けての具体的な方策を構築し、次年度以降の「戦略」に盛り込むとよいのではないのでしょうか。
2	1 (1) ① 地域や企業等と連携したふるさと教育の展開	（ふるさと教育の展開）について、それぞれ成果を挙げていることが伺えますが、具体的な「連携」の方法について好事例を紹介するなど、今後の「戦略」の深掘りが期待されます。
3	1 (1) ③ 幼児期から高等教育まで切れ目のない教育の展開	教員採用試験の受験者数が年々減少という状況は、全国的な課題となっており、今後は、岐阜県下のみならず近隣県の教職課程を有する大学間のネットワーク構築や、若い世代が教員という職業の魅力を感じ取る取組みを具体的に推進する施策が期待されます。
4	2 (1) ⑤ 全世代の生きがい・健康づくり	岐阜県及び各団体が相互に連携して健康施策を推進することが重要であることから、今後、各機関の具体的な「連携」方法の提示が重要であると考えます。
5	2 (2) ② 虐待・家庭内暴力の防止と被害者の支援	デートDVの低年齢化を受けての若年層向けの周知・啓発については、児童虐待と同様、県警察および教育委員会との「連携」が不可欠であり、ストーカー防止などの事案とも組み合わせる啓発活動をおこなうことを、「戦略」に盛り込むことが効果的であると考えます。
6	2 (3) ⑤ 行政サービスの連携・横断的な実施	今後の取組みとして、「誰一人取り残されない」デジタル社会の実現をめざし、情報弱者を具体的に想定しての情報格差対策等を推進することを、「戦略」に取り込むことが必要であると考えます。
7	3 (1) ① 「清流の国ぎふ」の文化・芸術の創造・伝承・発信	（社会教育施設（県美術館・県博物館等）の活用）については、それぞれ充実した取組みがなされていますが、たとえば地理的好条件を活かして、県美術館と県図書館が一層「連携」しての催事等が模索されるとよいのではないのでしょうか。県庁舎と美術館・図書館を結んでの「清流の国ぎふ」の文化・芸術発信の拠点としての意義が深まるように思います。

2. 「清流の国ぎふ」創生総合戦略（施策編）の改訂

ご意見はありませんでした。

3. 岐阜県の主なデジタル田園都市国家構想（地方創生）事業の進捗状況

ご意見はありませんでした。